

令和6年度 事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス重症心身障害）

| | | | |
|----------------|----------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 児童支援事業所ぶらみんぼーと | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年9月17日 | | 令和6年10月11日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 26 | (回答者数) 14 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和6年 11月 15日 | | 令和6年 12月 15日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 3 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 2月 19日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 保護者・子どもから信頼される施設 | 子どもの視線・表情を読み取りやりとりを丁寧に行っている。 | 待っている時間を楽しく過ごす方法の検討。 |
| 2 | 自己選択する機会 | 制作する場合の色の選択、運動の時にブランコ・すべり台の選択などお子さん個々の意思表示する機会を作っている。 | 職員からの問いかけだけでなくお子さん自身から発信する機会の強化。 |
| 3 | 職員の資質向上の取り組み | 隣接している世田谷区福祉人材センターの外部研修や東京都の医療的ケア児推進事業の研修を受講している。 | 令和5年度より職種ごとの内部研修を行っている。外部研修を受講した場合は伝達研修を行う。リーダーシップ研修等、職員の力量に合わせた外部研修を受講の内容を検討していく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 活動部屋の環境設定 | 車椅子から降りるスペースや食事をするスペース等、現状の環境では手狭になっている。 | 部屋の配置の検討。カーテンをつけることでプライバシーにより配慮出来る様にしていく。 |
| 2 | 安全計画・防災対策などのマニュアルの保護者への周知 | 東京リハビリテーションセンター世田谷としてのマニュアルが完成しているが、職員間での周知が不足している。保護者へ書面での周知が足りていない。 | 職員へのマニュアルに基づく机上研修の実施。保護者に簡易的なマニュアルを通知していく。 |
| 3 | ご意見・苦情受付 | ご家族からいただいた意見に対し共有し改善しているが報告書として記録していなかったため似た事例が発生している。 | 保護者からのご意見を報告書にするアプローチを行う。 |